

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターあゆむ (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 28日		～ R7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	R7年 1月 28日		～ R7年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちはあゆむの通所を楽しみにしている。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちひとりひとり見取った上での支援を心がけている。 本人の興味のあることや好きなことを中心に存分に遊ぶ環境を整えている。 集中して遊び、遊びを通して満たされることを大切にしている。 充実感や満足感が獲得できるよう、子どもたちを注視して向き合っている。 	現在の支援を継続しつつ、さらに質の高い支援を目指して精進したい。
2	子どもたち一人一人に合わせた個別支援計画を作成し、計画に沿った支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と定期的に面談を行い、計画を見直している。 子どもたちの様子に合わせた計画を作成している。 計画作成後も日々の支援が計画に沿っているか、職員間で話し合いながら支援を行っている。 	子どもたちに必要な支援を常に意識しながら支援にあたりたい。
3	子どもたちの活動スペースは十分に確保されている。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちのしたい活動や周りの子どもたちの状況も見ながら、児発ホールや放デイの部屋など複数の場所を使用している。 	今後も子どもたちに合わせて活動場所を提供していきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応が不十分である。	児発では避難訓練(いつもと違う活動)を行うことでパニックや想定外の行動が考えられるため、子どもたちが利用している時間には避難訓練を実施していなかった。しかし今回の評価を受けて、避難訓練のあり方については再度検討していきたい。	検討後に保護者へお伝えする。
2	マニュアルの整備が不十分である。	保護者への周知、説明が不十分のため、認知されていないと思われる。	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等それぞれのマニュアルについて確認整備し、保護者へ周知していく。
3	保護者同士が交流する機会がない。	今回の保護者からの評価を受けて、今後保護者同士の関わる機会について検討していきたい。	検討後に保護者へお伝えする。